

据置期間後解約自由定期預金規定（フリー定期）

1.（預金の支払時期等）

- (1) 据置期間後解約自由定期預金（以下「この預金」という。）は、預金の全部または一部について預入日の6か月後の応当日以後の任意の日に利息とともに支払います。
- (2) 前記（1）による預金（一部支払いをしたときはその支払い後の預金残高。以下同様とします。）の一部支払いは、預入日の6か月後の応当日から証書または通帳記載の最長預入期限までの間に、1万円以上の金額で請求してください。ただし、この預金の預入日現在において当組合がこの預金の基準利率に関し金額階層区分を設け、預入金額によって基準利率に差異を設けている場合で、この預金の一部支払い後の残余の預金元金額が当該階層区分を下回ることで一部支払いの取扱いは行いません。

2.（利息）

- (1) この預金の利息は、預入日から解約日（最長預入期限以後に支払う場合には最長預入期限）の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（以下「約定利率」という。）によって6か月複利の方法で計算し、この預金とともに支払います。ただし、一部支払いをするときのこの預金の利息は、一部支払いする元金部分について、一部支払い時に預入日から一部支払い日の前日までの日数および約定利率によって6か月複利の方法で計算し、一部支払いをする元金とともに支払います。
 - ① 6か月以上1年未満
 - ② 1年以上1年6か月未満
 - ③ 1年6か月以上2年未満
 - ④ 2年以上2年6か月未満
 - ⑤ 2年6か月以上3年未満
 - ⑥ 3年以上3年6か月未満
 - ⑦ 3年6か月以上4年未満
 - ⑧ 4年以上4年6か月未満
 - ⑨ 4年6か月以上5年未満
 - ⑩ 5年
- (2) この預金の最長預入期限以後の利息は、最長預入期限から解約日または書替継続日の前日までの日数について解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。
- (3) この預金を自由金利型定期預金（M型）規定の項目12.（1）により6か月後の応当日前に解約する場合および項目12.（3）（4）により解約する場合には、その利息は、預入日から解約日の前日までの日数について解約日における普通預金の利率（小数点第4位以下は切捨てます。）によって計算し、この預金とともに支払います。
- (4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

3.（自由金利型定期預金（M型）規定の適用）

この規定に定めのない事項については、自由金利型定期預金（M型）規定によるものとします。

令和6年4月1日 現在